

コマンド一覧表 (AutoCAD 2025)

赤字は 2025 新コマンド

英 数	
3DPOLY	3D ポリラインを作成します。

A	
ABOUT	製品に関する情報が表示されます。
ACTIVITYINSIGHTSCLOSE	アクティビティ インサイト パレットを閉じます。
ACTIVITYINSIGHTSOPEN	アクティビティ インサイト パレットを開きます。
ADCCLOSE	DesignCenter を閉じます。
ADCENTER	ブロック、外部参照、ハッチング パターンなどのコンテンツを管理、挿入します。
ADCNAVIGATE	DesignCenter の [フォルダ] タブに、指定した図面ファイル、フォルダ、またはネットワークパスをロードします。
ADDSELECTED	選択したオブジェクトと、タイプと一般プロパティが同じでジオメトリの値が異なる新しいオブジェクトが作成されます。
ADJUST	選択したアンダーレイ (DWF、DWFx、PDF、DGN) またはイメージのフェード、コントラスト、および白黒の設定を調整します。
ALIGN	オブジェクトを他の 2D オブジェクトまたは 3D オブジェクトに位置合わせします。
ANNORESET	選択されている異尺度対応オブジェクトのすべての代替尺度表現の位置をリセットします。
ANNOUPDATE	既存の異尺度対応オブジェクトをそのスタイルの現在のプロパティに一致するように更新します。
APERTURE	オブジェクト スナップのターゲット ボックスのサイズをコントロールします。
ARCHIVE	現在のシート セット ファイルの格納パッケージを作成します。
ARC	円弧を作成します。
ARCTEXT	文字を円弧に沿って配置します。
AREA	オブジェクトまたは定義した領域の面積と周長を計算します。
ARRAYCLASSIC	旧ダイアログ ボックスを使用して配列を作成します。
ARRAYCLOSE	配列複写の複写元に対する変更を保存または破棄し、配列の編集状態を終了します。
ARRAYEDIT	自動調整配列複写オブジェクトとその複写元オブジェクトを編集します。
ARRAYPATH	パスまたはパスの一部に沿って、オブジェクトのコピーを配置します。
ARRAYPOLAR	中心点または回転軸の周りに円形状に、オブジェクトコピーを等間隔に配置します。
ARRAYRECT	任意の行、列、レベルの組み合わせに対してオブジェクトのコピーを配置します。
ARRAY	オブジェクトを複数個複写して、一定のパターンに配列します。
ATTACHURL	ハイパーリンクを図面内のオブジェクトまたは領域にアタッチします。
ATTACH	他の図面、ラスター イメージ、点群、コーディネーション モデル、アンダーレイなどの外部ファイルへの参照を挿入します。
ATTDEF	ブロックにデータを格納するための属性定義を作成します。
ATTDISP	図面内のすべてのブロック属性の表示 / 非表示の優先設定をコントロールします。
ATTEDIT	ブロック内の属性情報を変更します。
ATTEXT	属性データをファイルに書き出します。属性とはブロックに関連付けられた文字情報のことです。
ATTIPEDIT	ブロック内の属性の文字列情報の内容を変更します。
ATTSYNC	ブロック定義の属性の変更をすべてのブロック参照に適用します。
AUDIT	図面の完全性を検証し、エラーを修正します。
AUTOPUBLISH	指定した場所に DWF、DWFx、または PDF ファイルとして、図面を自動的にパブリッシュします。

B	
BACTIONBAR	パラメータ オブジェクトの選択セットに対するアクションバーを表示または非表示にします。
BACTIONSET	ダイナミック ブロック定義内のアクションと関連付けられたオブジェクトの選択セットを指定します。
BACTIONTOOL	アクションをダイナミック ブロック定義に追加します。
BACTION	アクションをダイナミック ブロック定義に追加します。
BASE	現在の図面の挿入基点を設定します。
BASSOCIATE	ダイナミック ブロック定義でアクションをパラメータと関連付けます。
BATTMAN	選択したブロック定義の属性を管理します。
BATTORDER	ブロックの属性の順序を指定します。
BAUTHORPALETTECLOSE	ブロック エディタ内の [ブロック オーサリング パレット] ウィンドウを閉じます。
BAUTHORPALETTE	ブロック エディタ内に、[ブロック オーサリング パレット] ウィンドウを開きます。
BCLOSE	ブロック エディタを閉じます。
BCONSTRUCTION	ブロック ジオメトリを構築ジオメトリに変換します。このジオメトリは非表示または表示することができます。
BCONVERT	選択したジオメトリおよび同一のインスタンスをブロックに変換します。
BCYCLEORDER	ダイナミック ブロック参照のグリップの循環順序を変更します。
BEDIT	ブロック エディタでブロック定義を開きます。
BSETTINGS	[ブロック エディタ設定] ダイアログ ボックスを表示します。
BGRIPSET	パラメータに関連付けられたグリップを作成、削除、リセットします。
BLEND	選択した 2 本の線分または曲線の間の隙間にスプラインを作成します。
BLOCKICON	DesignCenter で表示されるブロックのプレビュー イメージを生成します。
BLOCK	選択したオブジェクトからブロック定義を作成します。
BLOCKSDATAOPTION	ブロックデータのオプションを表示します。
BLOCKSPALETTE	[ブロック] パレットを開きます。
BLOCKSPALETTECLOSE	[ブロック] パレットを閉じます。
BLOOKUPTABLE	ダイナミック ブロック定義のルックアップ テーブルを表示または作成します。
BMPOUT	選択したオブジェクトを DIB(Device-Independent Bitmap) 形式でファイルに保存します。
BOUNDARY	閉じた領域からリージョンまたはポリラインを作成します。
BPARAMETER	グリップを持つパラメータをダイナミック ブロック定義に追加します。
BREAK	選択したオブジェクトの 2 点間を部分的に削除したり、選択したオブジェクトを 1 点で 2 つに分割します。
BREAKATPOINT	選択したオブジェクトを指定した点で 2 つのオブジェクトに分割します。
BREPLACE	指定されたブロック参照を、提案されたブロックのリストから選択したブロックに置き換えます。
-BREPLACE	コマンド実行で、指定されたブロック参照を、提案されたブロックのリストから選択したブロックに置き換えます。
BROWSER	システム レジストリに定義している既定の Web ブラウザを起動します。
BSAVEAS	現在のブロック定義のコピーを新しい名前で保存します。
BSAVE	現在のブロック定義を保存します。
BTABLE	ブロックのバリエーションを [ブロック プロパティ テーブル] に格納します。
BTESTBLOCK	ブロック エディタ内に、ダイナミック ブロックをテストするためのウィンドウを表示します。
BVHIDE	ダイナミック ブロック定義の現在の可視性の状態またはすべての可視性の状態でオブジェクトを非表示にします。
BVSHOW	ダイナミック ブロック定義の現在の可視性の状態またはすべての可視性の状態でオブジェクトを表示します。
BVSTATE	ダイナミック ブロック内に可視性の状態を作成、設定、削除します。

C	
CAL	コマンドプロンプトに対する数式や幾何計算式、またはコマンド内のそれらの式を評価します。
CENTERDISASSOCIATE	中心マークまたは中心線とこれらが定義するオブジェクトとの関連付けを削除します。
CENTERLINE	選択した線分やポリラインに関連付けられた中心線ジオメトリを作成します。
CENTERMARK	選択した円または円弧の中心に、自動調整の十字形のマークを作成します。
CENTERREASSOCIATE	中心マークまたは中心線オブジェクトを、選択したオブジェクトに関連付けます。
CENTERRESET	中心線を、システム変数 CENTEREXE で指定されている現在の値にリセットします。
CHAMFER	2つの2Dオブジェクトのエッジまたは3Dソリッドの隣接する面をベベルまたは面取りします。
CHANGE	既存のオブジェクトのプロパティを変更します。
CHPROP	オブジェクトのプロパティを変更します。
CHSPACE	レイアウトで、選択したオブジェクトをモデル空間とペーパー空間の間で転送します。
CIRCLE	円を作成します。
CLASSICIMAGE	現在の図面内で参照されているイメージファイルを管理します。
CLASSICINSERT	旧形式の [ブロック挿入] ダイアログボックスを開きます。
CLASSICLAYER	旧式の [画層プロパティ管理] を開きます。
CLASSICXREF	現在の図面内で参照されている図面ファイルを管理します。
CLEANSCREENOFF	画面上で、ツールバーとドッキング可能なウィンドウ (コマンドウィンドウを除く) を非表示にします。
CLIP	ブロック、外部参照、イメージ、ビューポート、アンダーレイなど、選択したオブジェクトを指定した境界で切り抜きます。
CLOSEALLOTHER	現在の図面以外、開いている他の図面をすべて閉じます。
CLOSEALL	現在開いているすべての図面を閉じます。
CLOSE	現在の図面を閉じます。
COLOR	新しく作成するオブジェクトの色を設定します。
COMMANDLINEHIDE	コマンドウィンドウを非表示にします。
COMMANDLINE	コマンドウィンドウを表示します。
COMMANDMACROS	[コマンドマクロ]パレットを開きます。
COMMANDMACROSCLOSE	[コマンドマクロ]パレットを閉じます。
CONSTRAINTBAR	オブジェクトの幾何拘束の表示 / 非表示を切り替えます。
CONSTRAINTSETTINGS	拘束バーの幾何拘束の表示をコントロールします。
CONVERTCTB	色従属印刷スタイルテーブル (CTB) を名前の付いた印刷スタイルテーブル (STB) に変換します。
CONVERTPSTYLES	現在の図面を、名前の付いた印刷スタイルまたは色従属印刷スタイルに変換します。
COMPARE	同じ図面の2つの改訂、または異なる図面間の違いを比較して、ハイライト表示します。
COMPARECLOSE	[比較] ツールバーを閉じ、図面比較を終了します。
COMPAREEXPORT	比較結果を「スナップショット図面」と呼ばれる新しい図面に書き出します。
COMPAREIMPORT	比較ファイルから現在の図面にオブジェクトを読み込みます。
COMPAREINFO	2つの比較している図面に関するプロパティ情報を挿入またはコピーできるようにします。
CONVERT	後の方の製品リリースで使用するために、旧形式のポリラインとハッチングを変換します。
COPYBASE	選択したオブジェクトを、指定した基点と一緒に、クリップボードにコピーします。
COPYCLIP	選択したオブジェクトをクリップボードにコピーします。
COPYFROMTRACE	トレースから図面にコピーします。
COPYHIST	コマンドライン履歴内の文字列をクリップボードにコピーします。
COPYLINK	他のOLEアプリにリンクするために、現在のビューをクリップボードにコピーします。
COPYTOLAYER	1つまたは複数のオブジェクトを別の画層に複写します。
COPY	指定した方向に、指定した距離だけオブジェクトを複写します。
COUNT	図面内で選択したオブジェクトのインスタンスをカウントし、ハイライト表示します。
COUNTAREA	オブジェクトまたはブロックのインスタンスをカウントする領域を定義します。
COUNTAREACLOSE	カウント選択領域をキャンセルします。
COUNTCLOSE	[カウント] ツールバーを閉じて、カウントを終了します。
COUNTFIELD	現在のカウントの値に設定されるフィールドを作成します。
COUNTLIST	カウントされたブロックを表示および管理するための [カウント] パレットを開きます。
COUNTLISTCLOSE	[カウント] パレットを閉じます。
COUNTNAVNEXT	カウント結果内の次のオブジェクトにズームします。
COUNTNAVPREV	カウント結果内の前のオブジェクトにズームします。
COUNTTABLE	図面内のブロック名とそれに対応する各ブロックの個数が記載された表を挿入します。

CUIEXPORT	カスタマイズされた設定を、メイン CUIx ファイルから共有 CUIx ファイルまたは部分 CUIx ファイルに書き出します。
CUIIMPORT	カスタマイズされた設定を共有 CUIx ファイルまたは部分 CUIx ファイルからメイン CUIx ファイルに読み込みます。
CUILOAD	カスタマイズ ファイル (CUIx) をロードします。
CUIUNLOAD	CUIx ファイルをロード解除します。
CUI	製品のカスタマイズされたユーザ インタフェース要素を管理します。
CUSTOMIZE	ツールパレットおよびツールパレット グループをカスタマイズします。
CUTBASE	選択したオブジェクトを指定した基点と一緒にクリップボードにコピーし、図面から除去します。
CUTCLIP	選択したオブジェクトをクリップボードにコピーし、それらを図面から除去します。

D	
DATALINKUPDATE	確立された外部データリンクへのデータまたは外部データリンクからのデータを更新します。
DATALINK	[データリンクマネージャ]ダイアログボックスを表示します。
DBCCONFIGURE	[データソースを環境設定]ダイアログボックス([データベース接続マネージャ])を開きます。
DCDISPLAY	オブジェクトの選択セットに関連付けられたダイナミック拘束を表示または非表示にします。
DDVPOINT	3D視線方向を設定します。
DELAY	スクリプト内での待ち時間を設定します。
DELCONSTRAINT	オブジェクトの選択セットから、すべての幾何拘束および寸法拘束を除去します。
DESIGNFEEDCLOSE	[設計フィード]パレットを閉じます。
DESIGNFEEDOPEN	[設計フィード]パレットを開きます。
DETACHURL	図面内のハイパーリンクを削除します。
DETECT	[検出]パレットを表示し、オブジェクトの検出を開始します。
DETECTCLOSE	検出のレビューを終了します。
DETECTCONVERT	ブロックに変換するための[変換]ダイアログボックスが表示されます。
DETECTPRIMARY	新しいブロック定義の作成元として検出されたインスタンスを指定します。
DETECTREMOVE	選択したインスタンスをセットから削除します。
DETECTREVIEWNEXT	検出されたオブジェクトの次のセットを表示します。
DETECTREVIEWPREV	検出されたオブジェクトの前のセットを表示します。
DGNADJUST	DGNアンダーレイのフェード、コントラスト、白黒の設定を調整します。
DGNATTACH	DGNファイルをアンダーレイとして現在の図面に挿入します。
DGNCLIP	選択したDGNアンダーレイの表示を、指定した境界で切り抜きます。
DGNEXPORT	現在の図面から1つまたは複数のDGNファイルを作成します。
DGNIMPORT	システム変数DGNIMPORTMODEの設定に応じて、DGNファイルから、新しいDWGファイルまたは現在のDWGファイルにデータを読み込みます。
DGNLAYERS	DWFアンダーレイでの画層の表示をコントロールします。
DGNMAPPING	ユーザ定義のDGNマッピング設定を作成、編集できます。
DIGITALSIGN	図面にデジタル署名します。デジタル署名は、不正な変更が行われた場合は除去されます。
DIMALIGNED	長さ寸法を平行に記入します。
DIMANGULAR	角度寸法を記入します。
DIMARC	弧長寸法を記入します。
DIMBASELINE	最後に記入した寸法または選択した寸法の基準線から、長さ寸法、角度寸法、座標寸法を記入します。
DIMBREAK	寸法線および寸法補助線の他のオブジェクトと交差する箇所にマスクを追加したり、マスクを除去します。
DIMCENTER	円と円弧の非自動調整中心マークまたは中心線を記入します。
DIMCONTINUE	直前の寸法または選択した寸法の寸法補助線から始まる寸法を記入します。
DIMDIAMETER	円または円弧の直径寸法を記入します。
DIMDISASSOCIATE	選択した寸法の自動調整を解除します。
DIMEDIT	寸法値および寸法補助線を編集します。
DIMINSPECT	選択した寸法に検査情報を追加または除去します。
DIMJOGGED	円または円弧に対して折り曲げ寸法を記入します。
DIMJOGLINE	長さ寸法や平行寸法の折り曲げを記入または除去します。
DIMLINEAR	長さ寸法を記入します。
DIMORDINATE	座標寸法を記入します。
DIMOVERRIDE	選択した寸法で使用されているシステム変数の優先設定をコントロールします。
DIMRADIUS	円または円弧の半径寸法を記入します。
DIMREASSOCIATE	選択した寸法を、オブジェクトまたはオブジェクト上の点に関連付け、または再関連付けします。
DIMREGEN	すべての自動調整寸法の位置を更新します。
DIMROTATED	回転した長さ寸法を作成します。
DIMSPACE	長さ寸法または角度寸法間の間隔を調整します。
DIMSTYLE	寸法スタイルを作成、修正します。
DIMTEDIT	寸法値を移動、回転し、寸法線の位置を変更します。
DIM	単一のコマンドセッション中に、複数のタイプの寸法を記入します。
DIST	2点間の距離と角度を計測します。
DIVIDE	オブジェクトの長さまたは周長に沿って等間隔に、点オブジェクトまたはブロックを作成します。
DLINE	直線や円弧を使用して2重線を作成します。
DONUT	塗り潰された円、または幅のあるリングを作成します。

DRAGMODE	ドラッグするオブジェクトの表示方法をコントロールします。
DRAWINGRECOVERYHIDE	[図面修復管理]を閉じます。
DRAWINGRECOVERY	プログラムやシステムの失敗後に、修復可能な図面ファイルのリストを表示します。
DRAWORDER	イメージや他のオブジェクトの表示順序を変更します。
DSETTINGS	グリッドとスナップ、極トラッキング、オブジェクトスナップトラッキング、オブジェクトスナップモード、ダイナミック入力、クイックプロパティを設定します。
DWFADJUST	DWFまたはDWFxアンダーレイのフェード、コントラスト、白黒の設定を調整します。
DWFATTACH	DWFまたはDWFxファイルをアンダーレイとして現在の図面に挿入します。
DWFCLIP	選択したDWFまたはDWFxアンダーレイの表示を、指定した境界で切り抜きます。
DWFFORMAT	特定のコマンドの既定の出力形式をDWFまたはDWFxに設定します。
DWFLAYERS	DWFまたはDWFxアンダーレイの画層の表示をコントロールします。
DWGCONVERT	選択した図面ファイルの図面形式のバージョンを変換します。
DWGHISTORY	図面履歴パレットを開きます。
DWGHISTORYCLOSE	描画履歴パレットを閉じます。
DWGPROPS	現在の図面のファイルのプロパティを設定および表示します。

E	
EATTEDIT	ブロック参照の属性を編集します。
ELEV	新しく作成するオブジェクトの高度と押し出しの厚さを設定します。
ELLIPSE	楕円または楕円弧を作成します。
ERASE	図面からオブジェクトを削除します。
ETRANSMIT	インターネット転送用にファイルセットのパッケージを作成します。
EXPLODE	複合オブジェクトを構成要素となっているオブジェクトに分解します。
EXPORTDWFX	DWFX ファイルを作成します。シートごとに個々のページ設定を変更することができます。
EXPORTDWF	DWF ファイルを作成します。シートごとに個々のページ設定を変更することができます。
EXPORTLAYOUT	現在のレイアウトの視覚表現を、新規図面のモデル空間に作成します。
EXPORTPDF	1つのレイアウト、すべてのレイアウト、モデル空間内の指定した領域から、PDF ファイルを生成します。
EXPORTSETTINGS	DWF、DWFX、PDF ファイルへの書き出し時に、ページ設定と図面上の書き出す領域を調整します。
EXPORTTOAUTOCAD	AutoCAD などの製品で開くことができるバージョンの AEC ファイルを作成します。
EXPORT	図面内のオブジェクトを他のファイル形式で保存します。
EXTEND	他のオブジェクトのエッジとぶつかる位置までオブジェクトを延長します。
EXTERNALREFERENCESCLOSE	[外部参照]パレットを閉じます。
EXTERNALREFERENCES	[外部参照]パレットを開きます。

F	
FADEMARKUP	水平のマークアップをフェードして、トレース上で目立たないようにします。
FIELD	フィールド値の変更に応じて自動的に更新できるフィールドを含むマルチ テキスト オブジェクトを作成します。
FILETABCLOSE	作図領域の上部のファイル タブを非表示にします。
FILETAB	ファイル タブを作図領域の上部に表示します。
FILLET	2つの 2D オブジェクトのエッジまたは 3D ソリッドの隣接する面を丸めるまたはフィレットします。
FILL	ハッチング、2D 塗り潰し、幅のあるポリラインなどの塗り潰されたオブジェクトの表示をコントロールします。
FILTER	オブジェクトを選択セットに含めるために満たす必要のある条件のリストを作成します。
FIND	指定した文字列を検索します。必要に応じて、他の文字列に置換することもできます。

G	
GEOGRAPHICLOCATION	図面ファイルに地理的位置情報を割り当てます。
GEOLOCATEME	モデル空間内の、ユーザの現在位置と対応する座標にインジケータを表示します。またはこのインジケータを非表示にします。
GEOMAPIIMAGEUPDATE	オンライン マップ サービスからのマップ イメージを更新し、必要に応じて最適な画面表示のために解像度をリセットします。
GEOMAPIIMAGE	オンライン マップ の一部を、マップ イメージと呼ばれるオブジェクトにキャプチャし、これを作図領域内に埋め込みます。
GEOMAP	現在のビューポートに、オンライン マップ サービスから取得した地図を表示します。
GEOMARKLATLONG	緯度と経度によって定義された位置に位置マーカを配置します。
GEOMARKME	作図領域内のユーザの現在位置に対応する座標に、位置マーカを配置します。
GEOMARKPOINT	モデル空間内の指定した点に、位置マーカを配置します。
GEOMARKPOSITION	指定された位置に位置マーカを配置します。
GEOREMOVE	図面ファイルからすべての地理的位置情報を除去します。
GEOREORIENTMARKER	モデル空間内の位置マーカの北方向と位置を、緯度と経度を変更せずに、変更します。
GETENV	指定したシステム レジストリ変数の値を表示します。
GOTOSTART	現在の図面から [スタート] タブに切り替えます。
GOTOURL	オブジェクトにアタッチされたハイパーリンクに関連付けられたファイルまたは Web ページを開きます。
GRADIENT	閉じた領域または選択されたオブジェクトをグラデーションで塗り潰します。
GRAPHICSCONFIG	ハードウェア アクセラレーションをオンまたはオフに設定し、表示パフォーマンスのオプションにアクセスできるようにします。
GRAPHSCR	テキスト ウィンドウがアプリケーション ウィンドウの後ろに表示されるようにします。
GRID	現在のビューポートにグリッド パターンを表示します。
GROUPEDIT	選択したグループにオブジェクトを追加または削除したり、選択したグループの名前を変更します。
GROUP	グループと呼ばれる保存されるオブジェクトのセットを作成、管理します。

H	
HATCHEDIT	既存のハッチングまたは塗り潰しを修正します。
HATCHGENERATEBOUNDARY	選択したハッチングを取り囲む非自動調整ポリラインを作成します。
HATCHSETBOUNDARY	選択したハッチングまたは塗り潰しを、別の閉じた境界に適合するように再定義します。
HATCHSETORIGIN	選択したハッチングのハッチング パターン生成の開始位置をコントロールします。
HATCHTOBACK	図面内のすべてのハッチングの表示順序を他のすべてのオブジェクトの背面に設定します。
HATCH	囲まれた領域または選択したオブジェクトをハッチングパターン、単一色、またはグラデーションで塗り潰します。
HELP	オンラインまたはオフライン ヘルプシステムが表示されます。
HIDEOBJECTS	選択したオブジェクトを非表示にします。
HIDEPALETTES	現在表示されているすべてのパレット (コマンド ウィンドウを含む) を非表示にします。
HIDE	2D ワイヤフレーム表示スタイルで、隠線処理をして 3D モデルを表示します。
HIGHLIGHTNEW	製品の更新プログラム内の新機能および変更された機能を、オレンジ色のドットを使用してユーザ インタフェースでハイライト表示するかどうかをコントロールします。
HLSETTINGS	隠線などのプロパティの表示を設定します。
HYPERLINKOPTIONS	ハイパーリンクのカーソル、ツールチップ、ショートカット メニューの表示をコントロールします。
HYPERLINK	ハイパーリンクをオブジェクトにアタッチしたり、既存のハイパーリンクを修正します。

I	
ID	指定した位置の UCS 座標値を表示します。
IMAGEADJUST	イメージの明るさ、コントラスト、およびフェードの値をコントロールします。
IMAGEATTACH	イメージ ファイルへの参照を挿入します。
IMAGECLIP	選択したイメージの表示を、指定した境界で切り抜きます。
IMAGEQUALITY	イメージの表示品質をコントロールします。
IMAGE	[外部参照]パレットを表示します。
IMPORT	現在の図面に、他の形式のファイルを読み込みます。
INPUTSEARCHOPTIONS	コマンド、システム変数、名前の付いたオブジェクトのコマンドライン入力候補リストの表示に関する設定をコントロールするダイアログ ボックスを開きます。
-INSERTCONTENT	図面またはブロックを現在の図面に挿入します。
INSERTOBJ	リンク オブジェクトまたは埋め込みオブジェクトを挿入します。
INSERT	ブロックまたは図面を、現在の図面に挿入します。
INTERSECT	選択したリージョンの重なり合った部分から 2D リージョンを作成します。
ISODRAFT	アイソメ作図の設定をオン/オフしたり、現在の 2D アイソメ作図平面を指定します。
ISOLATEOBJECTS	選択したオブジェクト以外のすべてのオブジェクトを一時的に非表示にします。
ISOPLANE	2D アイソメ図の現在の平面を指定します。

J	
JOIN	直線および曲線オブジェクトの端点を結合し、単一のオブジェクトを作成します。
JPGOUT	選択したオブジェクトを JPEG 形式でファイルに保存します。
JUSTIFYTEXT	選択した文字オブジェクトを、その位置を変更せずに、位置合わせ点を変更します。

L	
LAYCUR	選択したオブジェクトの画層プロパティを、現在の画層に変更します。
LAYDEL	画層上のすべてのオブジェクトを削除し、画層を名前削除します。
LAYERCLOSE	[画層プロパティ管理]を閉じます。
LAYERPMODE	LAYERP[画層復元]コマンドで使用するために、画層設定に対する変更の追跡をオンまたはオフにします。
LAYERP	画層設定に対して最後に行った1つまたは複数の変更を元に戻します。
LAYERSTATESAVE	[新しい画層状態を保存]ダイアログボックスが表示され、新しい画層状態の名前と説明を入力できます。
LAYERSTATE	画層状態と呼ばれる画層設定のセットを保存、復元、管理します。
LAYER	画層と画層のプロパティを管理します。
LAYFRZ	選択したオブジェクトの画層をフリーズします。
LAYISO	選択したオブジェクトの画層以外のすべての画層を非表示またはロックします。
LAYLCK	選択したオブジェクトの画層をロックします。
LAYMCH	選択したオブジェクトの画層を、指定した画層に変更します。
LAYMCUR	現在の画層を、選択したオブジェクトの画層に設定します。
LAYMRG	選択した画層を目的の画像に合成し、合成した画層を図面から除去します。
LAYOFF	選択したオブジェクトの画層を非表示にします。
LAYON	図面内のすべての画層を表示します。
LAYOUTWIZARD	新しいレイアウト タブを作成し、ページ設定および印刷設定を指定します。
LAYOUT	図面のレイアウトを作成、修正します。
LAYTHW	図面内のすべての画層をフリーズ解除します。
LAYULK	選択したオブジェクトの画層をロック解除します。
LAYUNISO	LAYISO[画層選択表示]コマンドによって非表示またはロックされたすべての画層を復元します。
LAYVPI	選択した画層を、現在のビューポートを除くすべてのレイアウトビューポートでフリーズします。
LAYWALK	選択した画層上のオブジェクトを表示し、他のすべての画層上のオブジェクトを非表示にします。
LEADER	フィーチャに注釈を接続する線分を作成します。
LENGTHEN	オブジェクトの長さや円弧の中心角を変更します。
LIMITS	グリッドの表示範囲を制限し、点の位置のクリック範囲または入力範囲を制限できる非表示の矩形境界を作図領域に設定します。
LINETYPE	線種をロード、設定、修正します。
LINE	一連の連続する線分セグメントを作成します。それぞれのセグメントは線分オブジェクトであり、個別に編集できます。
LIST	選択したオブジェクトのプロパティ データを表示します。
LOGFILEOFF	LOGFILEON[ログ ファイル オン]コマンドで開いたコマンド履歴 ログ ファイルを閉じます。
LOGFILEON	コマンド履歴の内容をファイルに書き込みます。
LTSCALE	グローバル線種尺度を設定します。
LWEIGHT	現在の線の太さ、線の太さの表示オプション、線の太さの単位を設定します。

M	
MARKUP	[マークアップセット管理]を開きます。
MARKUPASSIST	読み込まれたマークアップを解析し、文字の吹き出しおよび雲マークをより速く、配置します。
MARKUPCLOSE	[マークアップセット管理]を閉じます。
MARKUPIIMPORT	マークアップされた図面 (イメージ/PDF) を新しいトレースとして DWG にインプレイスで読み込みます。
MASSPROP	選択した 2D リージョンまたは 3D ソリッドのマス プロパティを計算します。
MATCHCELL	選択した表のセルのプロパティを他のセルに適用します。
MATCHPROP	選択したオブジェクトのプロパティを他のオブジェクトに適用します。
MEASUREGEOM	選択したオブジェクトまたは一連の点の距離、半径、角度、面積、体積を計測します。
MEASURE	オブジェクトの長さ方向または外周に沿って、指定した間隔で点オブジェクトまたはブロックを作成します。
MIRROR	選択したオブジェクトの鏡像イメージを作成します。
MLEADERALIGN	選択したマルチ引出線オブジェクトの位置合わせと間隔を調整します。
MLEADERCOLLECT	ブロックを含む選択したマルチ引出線を縦列または横列に編成し、1つの引出線として表示します。
MLEADEREDIT	マルチ引出線オブジェクトに引出線を追加、またはマルチ引出線オブジェクトから引出線を除去します。
MLEADERSTYLE	マルチ引出線スタイルを作成、修正します。
MLEADER	マルチ引出線オブジェクトを作成します。
MODEL	名前の付いたレイアウト タブから [モデル] タブに切り替えます。
MOVE	指定した方向に、指定した距離だけオブジェクトを移動します。
MREDO	直前に実行した複数の UNDO[元に戻す]または U[一回元に戻す]コマンド操作を取り消します。
MSLIDE	現在のモデルビューポートまたは現在のレイアウトのスライド ファイルを作成します。
MSPACE	レイアウトで、ペーパー空間からレイアウトビューポート内のモデル空間に切り替わります。
MTEDIT	マルチ テキストを編集します。
MTEXT	マルチ テキスト オブジェクトを作成します。
MULTIPLE	キャンセルするまでコマンドを繰り返します。
MVIEW	レイアウトビューポートを作成、コントロールします。

N	
NAVBAR	統一されたインターフェースから表示ツールにアクセスできます。
NAVSWHEEL	カーソルですばやくアクセスできる高度なナビゲーションツールを表示します。
NCOPY	外部参照、ブロック、DGN アンダーレイに含まれているオブジェクトを複製します。
NEWSHEETSET	図面レイアウト、ファイルパス、およびプロジェクト データを管理する新規シート セット データ ファイルを作成します。
NEWVIEW	現在のビューポートの表示から、または矩形の窓を定義することにより、名前の付いたビューを新規登録します。
NEW	図面を新規作成します。

O	
OBJECTSCALE	異尺度対応オブジェクトが対応する尺度を追加または削除します。
OFFSET	同心円、平行な線、平行な曲線を作成します。
OLECONVERT	埋め込み OLE オブジェクトに異なる作成元アプリケーションを指定したり、OLE オブジェクトをアイコンで表示するかどうかをコントロールします。
OLELINKS	選択したリンク OLE オブジェクトを更新、変更、キャンセルします。
OLEOPEN	選択した OLE オブジェクトを、作成元のアプリケーションで開きます。
OLERESET	選択した OLE オブジェクトを元のサイズおよび形状に復元します。
OLESCALE	選択した OLE オブジェクトのサイズ、尺度、その他のプロパティをコントロールします。
ONLINEAUTOCAD360	既定のブラウザで、AutoCAD 360 を起動します。
ONLINEDESIGNSHARE	現在の図面のデザイン ビューを、Web ブラウザで表示および共有するために、安全な匿名の Autodesk A360 の場所にパブリッシュします。
ONLINEDOCS	Autodesk A360 のドキュメント一覧とフォルダがブラウザに表示されます。
ONLINEOPENFOLDER	Windows エクスプローラで、ユーザのローカル Autodesk A360 フォルダを開きます。
ONLINEOPTIONS	[オプション] ダイアログ ボックスの [オンライン] タブが表示されます。
ONLINESHARE	Autodesk A360 から現在の図面にアクセスできる人を指定します。
ONLINESYNCSETTINGS	[同期する設定を選択] ダイアログ ボックスが表示されて、同期する設定を指定できます。
ONLINESYNC	Autodesk A360 とのカスタム設定の同期を開始または停止します。
OOPS	削除したオブジェクトを復元します。
OPENDWFMARKUP	マークアップを含む DWF または DWFx ファイルを開きます。
OSNAP	定常オブジェクト スナップ モードを設定します。
OPENFROMCLOUD	ローカルの Autodesk A360 同期フォルダから、既存の図面ファイルを開きます。
OPENSHEETSET	選択したシート セットを開きます。
OPEN	既存の図面ファイルを開きます。
OPENFROMWEBMOBILE	オンラインの Autodesk Web & Mobile Account から図面ファイルを開きます。
OPTIONS	プログラムの設定をカスタマイズします。
ORTHO	カーソルの移動を水平方向または垂直方向に制限します。
OSNAP	定常オブジェクト スナップ モードを設定します。

P	
PAGESETUP	個々の新しいレイアウトに対するページレイアウト、印刷デバイス、用紙サイズ、その他の設定をコントロールします。
PAN	視線方向または倍率を変更せずにビューを移動します。
PARAMETERSCLOSE	[パラメータ管理]パレットを閉じます。
PARAMETERS	現在の図面内のすべての寸法拘束パラメータ、参照パラメータ、およびユーザ変数が表示された [パラメータ管理]パレットを表示します。
PASTEASHYPERLINK	ファイルへのハイパーリンクを作成し、選択したオブジェクトに関連付けます。
PASTEBLOCK	クリップボードから現在の図面に、オブジェクトをブロックとして貼り付けます。
PASTECLIP	クリップボードから現在の図面に、オブジェクトを貼り付けます。
PASTEORIG	クリップボードから現在の図面に、元の座標を使用してオブジェクトを貼り付けます。
PASTESPEC	クリップボードから現在の図面に、データ形式をコントロールして、オブジェクトを貼り付けます。
PCINWIZARD	PCP および PC2 環境設定ファイルの印刷設定を、[モデル]レイアウトまたは現在のレイアウトに読み込むためのウィザードを表示します。
PDFADJUST	PDF アンダーレイのフェード、コントラスト、白黒の設定を調整します。
PDFATTACH	PDF ファイルをアンダーレイとして現在の図面に挿入します。
PDFCLIP	選択した PDF アンダーレイの表示を、指定した境界で切り抜きます。
PDFIMPORT	指定された PDF ファイルから、ジオメトリ、塗り潰し、ラスターイメージ、TrueType 文字オブジェクトを読み込みます。
PDFLAYERS	PDF アンダーレイの画層の表示をコントロールします。
PDFSHXTEXT	PDF ファイルから読み込んだ SHX ジオメトリを、個々のマルチ テキスト オブジェクトに変換します。
PEDIT	ポリライン、ポリラインに結合するオブジェクト、および関連オブジェクトを編集します。
PKFSTGROUP	旧形式の [グループ管理] を表示します。
PLAN	指定したユーザ座標系の XY 平面の直交投影ビューを表示します。
PLINE	線分セグメントと円弧セグメントから構成された単一オブジェクトの 2D ポリラインを作成します。
PLOTSTAMP	日付、時刻、尺度などの情報が記載された印刷スタンプを各図面の指定したコーナーに配置し、ログ ファイルに記録します。
PLOTSTYLE	現在の図面にアタッチされ、オブジェクトに割り当てることができる、名前の付いた印刷スタイルをコントロールします。
PLOTTERMANAGER	プロッタ管理ウィンドウを開き、プロッタ環境設定を追加、編集します。
PLOT	図面をプロッタ、プリンタ、またはファイルに出力します。
PNGOUT	選択したオブジェクトを PNG 形式でファイルに保存します。
POINT	点オブジェクトを作成します。
POLYGON	正多角形の閉じたポリラインを作成します。
PREVIEW	印刷された状態の図面を表示します。
PROPERTIESCLOSE	[プロパティ]パレットを閉じます。
PROPERTIES	既存のオブジェクトのプロパティをコントロールします。
PSETUPIN	ユーザ定義のページ設定を新しい図面レイアウトに読み込みます。
PSPACE	レイアウトで、レイアウト ビューポート内のモデル空間からペーパー空間に切り替わります。
PTYPE	点オブジェクトの表示スタイルとサイズを指定します。
PUBLISHTOWEB	選択した図面のイメージを含む HTML ページを作成します。
PUBLISH	図面を DWF、DWFx、PDF ファイル、またはプリンタやプロッタにパブリッシュします。
PURGE	使用されていないブロック定義や画層などの項目を図面から削除します。
PURGEAECDATA	コマンド プロンプトで、図面内の非表示の AEC データ (AutoCAD Architecture および AutoCAD Civil 3D カスタム オブジェクト) を削除します。
PUSHTODOCSOPEN	[Autodesk Docs にプッシュ]パレットが表示され、そこで PDF として Autodesk Docs にアップロードする AutoCAD レイアウトを選択できます。
PUSHTODOCSCLOSE	[Autodesk Docs にプッシュ]パレットを閉じます。

Q	
QCCLOSE	クイック計算機を閉じます。
QDIM	選択したオブジェクトに一連の寸法をすばやく記入します。
QKUNGROUP	図面からグループ定義を削除します。
QLEADER	引出線と引出線の注釈を記入します。
QNEW	指定した図面テンプレート ファイルを使用して新規図面を開始します。
QSAVE	指定された既定のファイル形式を使用して現在の図面を保存します。
QSELECT	フィルタ条件に基づいて選択セットを作成します。
QTEXT	文字オブジェクトと属性オブジェクトの表示と印刷をコントロールします。
QUICKCALC	[クイック計算] 計算機インターフェースを表示します。
QUICKCUI	折りたたんだ状態で [ユーザ インタフェースをカスタマイズ] エディタを表示します。
QUICKPROPERTIES	選択したオブジェクトのクイック プロパティ データを表示します。
QUIT	プログラムを終了します。
QVDRAWINGCLOSE	開いている図面とそのレイアウトのプレビュー イメージを閉じます。
QVDRAWING	開いている図面および図面内のレイアウトをプレビュー イメージを使用して表示します。
QVLAYOUTCLOSE	現在の図面のモデル空間とレイアウトのプレビュー イメージを閉じます。
QVLAYOUT	現在の図面のモデル空間とレイアウトのプレビュー イメージを表示します。

R	
RAY	始点から無限に伸びる直線を作成します。
RECAP	[ReCap を起動]
RECOVERALL	破損した図面ファイルおよびアタッチされている外部参照を修復します。
RECOVER	破損した図面ファイルを修復して開きます。
RECTANG	長方形のポリラインを作成します。
REDO	直前の UNDO[元に戻す] または U[一回元に戻す] コマンドの効果を取り消します。
REDRAW	現在のビューポートを表示し直します。
REFCLOSE	インプレイス編集集中に行われた参照 (外部参照またはブロック定義) に対する変更を保存または破棄します。
REFEDIT	現在の図面内の外部参照またはブロック定義を直接編集します。
REFSET	参照 (外部参照またはブロック定義) をインプレイス編集集中に、作業セットにオブジェクトを追加したり、作業セットからオブジェクトを除外します。
REGENALL	図面全体を再作図し、すべてのビューポートを表示し直します。
REGEN	現在のビューポート内の図面を再作図します。
REGION	領域を囲むオブジェクトを 2D リージョンオブジェクトに変換します。
REINIT	ディジタイザ、ディジタイザ出力ポート、プログラムパラメータ ファイルを再初期化します。
RENAME	画層や寸法スタイルなどの項目に割り当てられている名前を変更します。
RESETBLOCK	1 つ以上のダイナミック ブロック参照をブロック定義の既定値に戻します。
RESUME	中断されたスクリプトを再開します。
REVCLOUD	雲マークを作成または修正します。
REVCLOUDPROPERTIES	選択した雲マーク内の円弧のおおよその弦長を制御します。
REVDATE	ユーザ名、現在の日付と時刻、図面名などを含むブロックを挿入、更新します。
REVERSE	選択した線分、ポリライン、スプライン、らせんの頂点を反転します。これは、含まれた文字がある線種または開始幅と終了幅が異なる幅のあるポリラインで役に立ちます。
RIBBONCLOSE	リボンを非表示にします。
RIBBON	リボンを表示します。
ROTATE	基点を中心にオブジェクトを回転します。
RSCRIPT	スクリプト ファイルを繰り返し実行します。

S	
SAVEAS	現在の図面のコピーを新しいファイル名で保存します。
SAVETOCLOUD	現在の図面のコピーを、新しいファイル名で、ローカルの Autodesk A360 同期フォルダに保存します。
SAVETOWEBMOBILE	現在の図面のコピーをオンラインの Autodesk Web & Mobile Account に保存します。
SAVE	現在の図面を、別のファイル名で保存します。そのファイルが現在のファイルであることは変わりません。
SCALELISTEDIT	レイアウト ビューポート、ページレイアウト、および印刷で使用できる尺度のリストをコントロールします。
SCALETEXT	選択した文字オブジェクトを、その位置を変更せずに、拡大または縮小します。
SCALE	オブジェクトを均等に拡大 / 縮小します。尺度変更後も、オブジェクトの相似性は保持されます。
SCRIPTCALL	スクリプト ファイルからネストされたスクリプトを使用して一連のコマンドを実行します。
SCRIPT	スクリプト ファイルを使用して一連のコマンドを実行します。
SEEK	Web ブラウザを開き、BIMObject のホームページを表示します。
SELECTCOUNT	選択したオブジェクトとプロパティが一致する現在のカウント内のオブジェクトをすべて検索し、それらのオブジェクトを選択セットに追加します。
SELECTSIMILAR	現在の図面内で、選択したオブジェクトとプロパティが一致するオブジェクトをすべて検索し、これらのオブジェクトを選択セットに追加します。
SELECT	選択したオブジェクトを直前の選択セットに入れます。
SETBYLAYERMODE	選択したオブジェクトのプロパティ優先を ByLayer に変更します。
SETENV	指定したレジストリ変数の値を設定します。
SETVAR	システム変数の値を一覧表示、変更します。
SHADEMODE	3D オブジェクトの表示をコントロールします。
SHARE	現在の図面のコピーへのリンクを共有し、AutoCAD Web アプリで表示または編集することができます。図面のコピーには、すべての外部参照とイメージが含まれます。
SHAREDVIEWS	[共有ビュー] パレットを開きます。
SHAREDVIEWSCLOSE	[共有ビュー] パレットを閉じます。
SHAREVIEW	現在の空間または図面全体を、オンラインで表示および共有できるように表現したものを作成します。
SHEETSETHIDE	[シート セット マネージャ] パレットを閉じます。
SHEETSET	[シート セット マネージャ] パレットを開きます。
SHOWPALETTES	非表示のパレットの表示を復元します。
SIGVALIDATE	図面ファイルにアタッチされたデジタル署名に関する情報を表示します。
SKETCH	一連のフリーハンド線分セグメントを作成します。
SNAP	カーソルの移動を指定した間隔に制限します。
SOLID	塗り潰した三角形や四角形を作成します。
SPACETRANS	レイアウトにおけるモデル空間とペーパー空間での距離を、対応する空間の距離に計算します。
SPELL	図面内のスペルをチェックします。
SPLINEDIT	スプラインのパラメータを修正、またはスプライン フィット ポリラインをスプラインに変換します。
SPLINE	一連のフィット点の近くを通る滑らかな曲線、または制御フレームの頂点で定義された滑らかな曲線を作成します。
STRETCH	選択窓または選択ポリゴンで囲まれたオブジェクトをストレッチします。
STYLESMANAGER	印刷スタイル テーブルを編集できる [印刷スタイル管理] を表示します。
STYLE	文字スタイルを作成、修正、指定します。
SUBTRACT	重なり合うリージョンの 1 つから他方を差演算することによって新しいリージョンを作成します。
SYSVARMONITOR	システム変数の一覧をモニタし、リスト内の任意のシステム変数が変更されると通知を送信します。
SYSWINDOWS	アプリケーション ウィンドウを外部のアプリケーションと共有する際に、ウィンドウとアイコンを整列します。

T	
TABLEEDIT	表のセル内の文字列を編集します。
TABLEEXPORT	表オブジェクトのデータを CSV ファイル形式で書き出します。
TABLESTYLE	表スタイルを作成、修正、指定します。
TABLET	接続されているデジタル化タブレットの位置合わせ、環境設定、タブレットモードのオン/オフの切り替えを行います。
TABLE	空の表オブジェクトを作成します。
TASKBAR	開いている複数の図面を Windows タスクバーに別々に表示するか、1 つにまとめて表示するかをコントロールします。
TEXTALIGN	複数の文字オブジェクトを、垂直、水平、または斜めに位置合わせします。
TEXTEDIT	選択したマルチテキストまたは 1 行文字オブジェクト、または寸法オブジェクト内の文字列を編集します。
TEXTSCR	現在のセッションのプロンプトとコマンドライン入力の履歴を表示する、テキストウィンドウが開きます。
TEXTTOFRONT	図面内の文字、引出線、寸法オブジェクトを、他のすべてのオブジェクトの前面に移動します。
TEXT	1 行文字オブジェクトを作成します。
TIFOUT	選択したオブジェクトを TIFF 形式でファイルに保存します。
TIME	図面の日時情報を表示します。
TINSERT	表のセルにブロックを挿入します。
TOLERANCE	公差記入枠に記入された幾何公差を作成します。
TOOLBAR	ツールバーの表示/非表示を切り替えたり、ツールバーをカスタマイズします。
TOOLPALETTECLOSE	[ツールパレット] ウィンドウを閉じます。
TOOLPALETTES	[ツールパレット] ウィンドウを開く。
TPNAVIGATE	指定したツールパレットまたはパレットグループを表示します。
TRACE	コマンドプロンプトからトレースを開いて管理します。
TRACEBACK	ホスト図面を最大彩度で表示し、トレースジオメトリを暗く表示します。
TRACEEDIT	アクティブなトレースを編集モードに変更します。
TRACEFRONT	アクティブなトレースを最大彩度で表示し、ホスト図面のジオメトリを暗く表示します。
TRACEPALETTECLOSE	[トレース]パレットを閉じます。
TRACEPALETTEOPEN	[トレース]パレットを開き、現在の図面で使用可能なトレースを表示します。
TRACEVIEW	アクティブなトレースを表示モードに変更します。
TRANSPARENCY	イメージの背景ピクセルを透明にするか不透明にするかをコントロールします。
TRIM	他のオブジェクトのエッジとぶつかる位置でオブジェクトをトリムします。
TXT2MTXT	1 行文字またはマルチテキストオブジェクトを、1 つまたは複数のマルチテキストオブジェクトに変換または結合します。

U	
UCSICON	UCS アイコンの表示/非表示、位置、外観、選択性をコントロールします。
UCSMAN	UCS の定義を管理します。
UCS	現在のユーザ座標系 (UCS) の原点と方向を設定します。
ULAYERS	DWF、DWFx、PDF、DGN アンダーレイ内の画層の表示をコントロールします。
UNDO	コマンド操作を取り消します。
UNGROUP	グループからオブジェクトの関連付けを解除します。
UNION	複数の 2D リージョンを 1 つの合成リージョンに結合します。
UNISOLATEOBJECTS	ISOLATEOBJECTS[オブジェクト選択表示] コマンドまたは HIDEOBJECTS[オブジェクト非表示] コマンドで非表示にされているオブジェクトを表示します。
UNITS	座標、距離、角度の精度と表示形式をコントロールします。
UPDATEFIELD	選択したオブジェクトのフィールドを更新します。
UPDATETHUMBSNOW	名前の付いたビュー、図面、レイアウトのサムネイルプレビューを手動で更新します。
U	直前に実行したコマンドの処理を取り消します。

V	
VIEWGO	名前の付いたビューを呼び出します。
VIEWPLOTDETAILS	完了した印刷ジョブおよびパブリッシュジョブの情報が表示されます。
VIEWRES	現在のビューポートでオブジェクトの解像度を設定します。
VIEW	名前の付いたモデル空間ビュー、レイアウトビュー、プリセットビューを登録したり、呼び出します。
VPCLIP	レイアウトビューポートオブジェクトをクリップします。
VPLAYER	ビューポート内での画層の表示 / 非表示を設定します。
VPMAX	現在のレイアウトビューポートを編集用に最大化して表示します。
VPMIN	現在のレイアウトビューポートの表示を元に戻します。
VPOINT	図面を 3D 表示するための視線方向を設定します。
VPORTS	モデル空間またはレイアウト (ペーパー空間) に複数のビューポートを作成します。
VSLIDE	現在のビューポートにイメージスライドファイルを表示します。
VTOPTIONS	表示の変化をスムーズな推移で表示します。

W	
WBLOCK	選択したオブジェクトを保存したり、ブロックを指定した図面ファイルに変換します。
WHOHAS	開かれた図面ファイルの所有者情報を表示します。
WIPEOUT	ワイプアウトオブジェクトを作成したり、ワープアウトのフレームを図面に表示するかどうかをコントロールします。
WMFIN	Windows メタファイルを読み込みます。
WMFOPTS	WMFIN[WMF 読み込み] コマンドのオプションを設定します。
WMFOUT	Windows メタファイルにオブジェクトを保存します。
WORKSPACE	ワークスペースを、作成、修正、保存、現在に設定します。
WSSAVE	ワークスペースを保存します。
WSSETTINGS	ワークスペースのオプションを設定します。

X	
XATTACH	選択した DWG ファイルを外部参照としてアタッチします。
XBIND	外部参照での名前の付いたオブジェクトの 1 つまたは複数の定義を現在の図面にバインドします。
XCLIP	選択した外部参照またはブロック参照の表示を、指定した境界で切り抜きます。
XCOMPARE	添付された外部参照を、参照されている図面ファイルの最新の状態と比較します。
XCOMPARECLOSE	外部参照比較ツールバーを閉じて、比較を終了します。
XCOMPARERCNEXT	外部参照比較結果の次の変更セットにズームします。
XCOMPARERCPREV	外部参照比較結果の以前の変更セットにズームします。
XLINE	無限に伸びる構築線を作成します。
XOPEN	選択した図面参照 (外部参照) を新しいウィンドウで開きます。
XPLODE	結果として得られるオブジェクトのプロパティを指定して、複合オブジェクトをその構成要素となっているオブジェクトに分解します。
XREF	EXTERNALREFERENCES[外部参照パレット] コマンドを開始します。

Z	
ZOOM	現在のビューポート内のビューの表示を拡大または縮小します。